

穫れ秋の「高温予想」に対応した

“ぎふの米”の適期収穫

を徹底

- 刈り遅れは、米のつやが無くなり、胴割米の増加につながります！
- 胴割米は消費者や流通業界（卸・販売店）から敬遠されます！
- お近くの農林事務所やJAからの「積算温度」情報に注意しましょう！
- 病害虫防除所からの発生予察情報に注意しましょう！

ここが
ポイント 収穫開始の目安は、**青穂の割合が 15%程度の頃です!!**

※栽培面積によっては10%程度が収穫の目安となります。



こんな虫を見たら要注意!



斑点米カメムシ類
イネカメムシ クモヘリカメムシ



トビイロウンカ
(長翅型・短翅型)と坪枯れ被害

“ぎふの米”の 高評価につながる ～6つの注目ポイント～

①米の収穫時に 注目!!

- 積算温度情報で事前に作業計画を立てておきましょう
- 収穫は立毛中のもみ水分にも注意しましょう

③コンバインや乾燥機 の掃除に注目!!

- 作業前、作業後、品種が変わるとときに異品種の混入を防止しましょう

⑤吸汁性害虫の 防除に注目!!

- 「斑点米カメムシ類」と「トビイロウンカ」は“ぎふの米”的大敵! 防除を徹底しましょう!

②田んぼの乾き 過ぎに注目!!

- 稲の下葉が枯れあがっていませんか?
- 水尻の板を撤去するのが早すぎませんか?

④米の乾燥し過ぎ に注目!!

- 検査規格水分の最高限度は15%です
- 乾かし過ぎはNG!!

⑥高温下で増える病気の 防除に注目!!

- 稲の株元から広がる紋枯病は今年発病すると菌が土に残るために来年の防除が必要です

